

岡崎市新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

令和2年7月29日現在

警戒領域 (愛知県)	判断基準 (愛知県)	岡崎市警戒 レベル※1	判断基準 (過去7日間の 市内の新規 クラスター等 発生事例数)	対応方針※2・3					
				市民広報	市役所	市立小・中学校※4	公立保育園・こども 園・児童育成セン ター	公共施設	行事・イベント等※5
注意(警戒)領域 注意(グリーン ゾーン)	①新規感染者数 (過去7日間の平均):10人未満 ②陽性率 (過去7日間):5.0%未満 ③入院患者数 (過去7日間の平均):150人未満 ④入院患者のうち重症者数 (過去7日間の平均):7人未満	平常期 (レベル1)	0件	○新しい生活様式の実践	○新しい生活様式の実践	○学校の新しい生活様式 の実践	○新しい生活様式の実践	○新しい生活様式の実践	○新しい生活様式の実践
注意(警戒)領域 警戒(イエロー ゾーン)	①新規感染者数 (過去7日間の平均):10人 ②陽性率 (過去7日間):5.0% ③入院患者数 (過去7日間の平均):150人 ④入院患者のうち重症者数 (過去7日間の平均):7人	注意期 (レベル2)	1~4件	○注意喚起 ○発生状況の情報提供 ○市役所・公共施設・イベ ント等の情報提供	○注意喚起 ○庁舎閉鎖の範囲・期間 の決定(市役所内で発生 した場合)	○注意喚起 ○全員登校 ○校内で感染者が発生し た場合、発生後3日間程 度休校とする。学校内で 感染が広がっている可能 性が高い場合は、学級単 位、学年単位又は学校全 体の臨時休業を検討、決 定	○注意喚起 ○臨時休園・休館の範囲・ 期間の決定(施設内で発 生した場合)	○注意喚起 ○施設閉鎖の範囲・期間 の決定(公共施設内で発 生した場合)	○注意喚起 ○イベント等の行事は目 安を踏まえ原則開催
危険領域 嚴重警戒(オレ ンジゾーン)	①新規感染者数 (過去7日間の平均):20人 ②陽性率 (過去7日間):10.0% ③入院患者数 (過去7日間の平均):250人 ④入院患者のうち重症者数 (過去7日間の平均):12人	警戒期 (レベル3)	5~15件	○注意喚起の強化 ○発生状況の情報提供 ○市役所・公共施設・イベ ント等の情報提供	○注意喚起の強化 ○庁舎閉鎖の範囲・期間 の決定(市役所内で発生 した場合) ○業務継続計画の発動を 準備	○注意喚起の強化 ○全員登校又は分散登校 ○校内で感染者が発生し た場合、発生後3日間程 度休校とする。学校内で 感染が広がっている可能 性が高い場合は、学級単 位、学年単位又は学校全 体の臨時休業を検討、決 定	○注意喚起の強化 ○臨時休園・休館の範囲・ 期間の決定(施設内で発 生した場合)	○注意喚起の強化 ○施設閉鎖の範囲・期間 の決定(公共施設内で発 生した場合) ○業務継続計画の発動を 準備	○注意喚起の強化 ○イベント等の行事は市 内の感染状況・目安を踏 まえ原則開催
危険領域 危険(レッドゾ ーン)	①新規感染者数 (過去7日間の平均):40人 ②陽性率 (過去7日間):20% ③入院患者数 (過去7日間の平均):500人 ④入院患者のうち重症者数 (過去7日間の平均):26人	危険期 (レベル4)	16件以上	○注意喚起の更なる強化 ○発生状況の情報提供 ○市役所・公共施設・イベ ント等の情報提供	○注意喚起の更なる強化 ○庁舎閉鎖の範囲・期間 の決定(市役所内で発生 した場合) ○業務継続計画の発動を 検討	○注意喚起の更なる強化 ○全員登校又は分散登校 ○「特定(警戒)都道府県」 に相当する感染状況の場 合は、臨時休業も検討 ○校内で感染者が発生し た場合、発生後3日間程 度休校とする。学校内で 感染が広がっている可能 性が高い場合は、学級単 位、学年単位又は学校全 体の臨時休業を検討、決 定	○注意喚起の更なる強化 ○臨時休園・休館の範囲・ 期間の決定(施設内で発 生した場合)	○注意喚起の更なる強化 ○施設閉鎖の範囲・期間 の決定(公共施設内で発 生した場合) ○業務継続計画の発動を 検討	○注意喚起の更なる強化 ○市内の感染状況を踏ま え、目安を超えるイベント 等の行事の中止を検討

※1:警戒レベルの移行及び具体的な対応は、発生事例の内容等を踏まえて岡崎市新型コロナウイルス感染症対策本部で総合的に判断して決定する。

※2:国または愛知県が緊急事態宣言を発令した場合の具体的な対応は、警戒レベルに関わらず岡崎市新型コロナウイルス感染症対策本部で総合的に判断して決定する。

※3:業務継続計画発動時は、別途、岡崎市新型コロナウイルス感染症対策本部で総合的に判断して決定する。

※4:文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に従って、学校の新しい生活様式を実践する。

※5:目安として、屋内では収容率を50%以内、屋外では十分な間隔(できれば2m)で人数の上限を5,000人とする。